

想定地震

南海地震は紀伊半島から四国沖に伸びる南海トラフと呼ばれる海底4,000mのプレート内で起きる地震で、切迫性が高い地震といわれています。地震の規模を表すマグニチュードは8.4で、予測される地震の強さ(震度)は、町全域で震度5強から6強となり、内子町において大きな被害を与える可能性があります。

買い物先

買い物かごやバッグ等で頭を保護する。
慌てず係員の指示に従う。
避難時は階段を使う。

自宅

身の安全を確保し、すばやく火を消す。
窓や玄関の扉を開け、脱出口を確保する。

学校

机の下にもぐり頭を保護する。
地震の揺れがおさまったら、教職員の指示に従う。

屋外

ブロック塀や石垣、電柱からすぐに離れる。
ガラスの破片、看板などの落下物に注意し、持ち物で頭を保護する。

エレベーター

すべての階のボタンを押し、最初に停止した階へ降りる。
降りるときは、火災など周辺の状況を確認する。
停電等でドアが開かなくなったら非常ボタンを押し、指示を待つ。

こんな場所で地震に遭ったら・・・

電車

座席では、足を踏ん張って前かがみになり、鞆で頭を保護する。
電車の外には出ず、乗務員の指示に従う。

オフィス

机上OA機器の落下に注意し、すばやく机の下にもぐりこむ。
外へ逃げるときは落下物に注意する。

運転中

ハンドルをしっかりと握り、少しずつスピードを落とし道路の左側に止めエンジンを切る。
揺れがおさまるまで外に出ず、ラジオで地震情報を確認する。
車から離れる時は、キーはつけたままドアロックはしない。

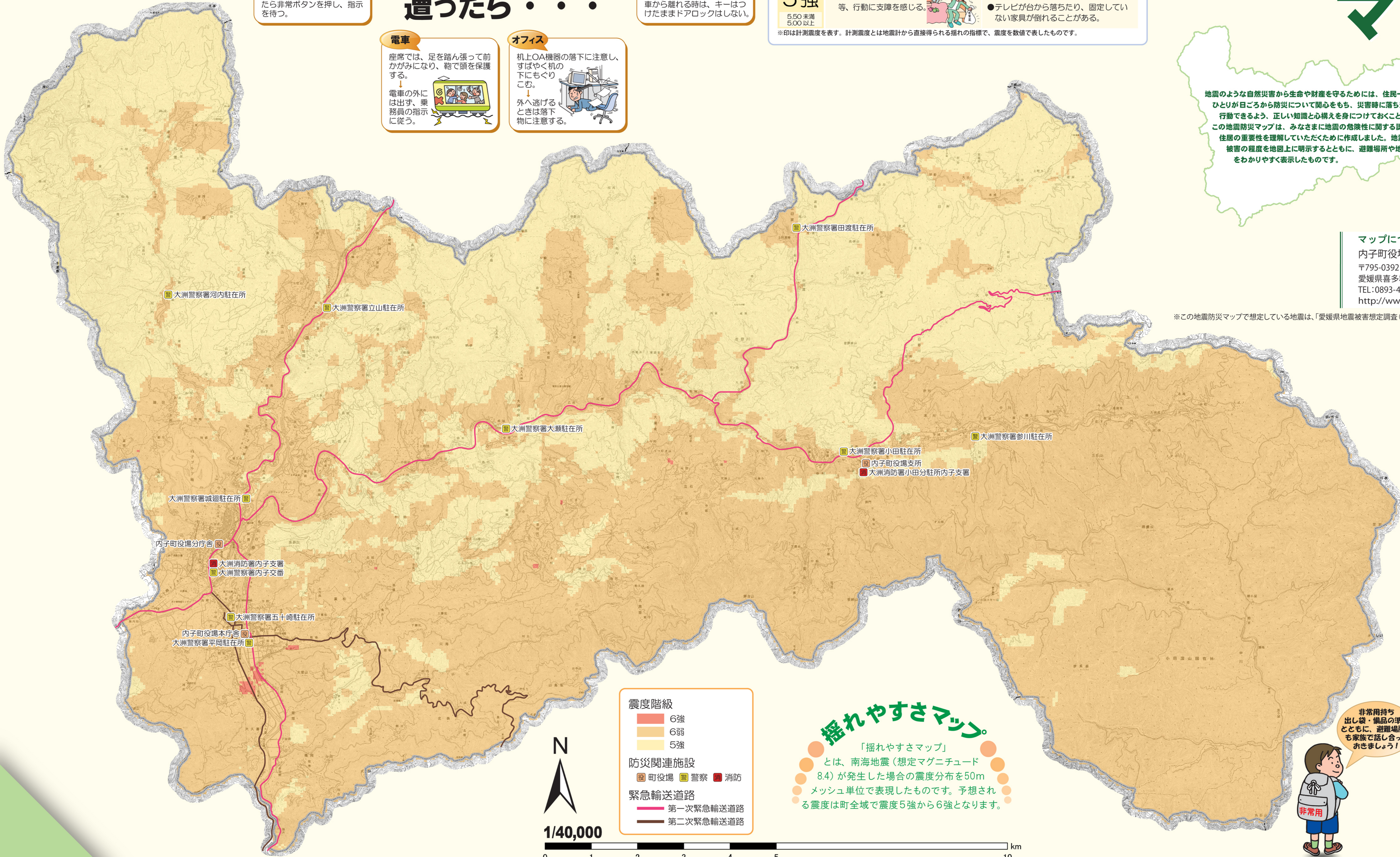
震度階級のみかた

	人間の感覚	建物内の状況
6強 ※6.50未満 6.00以上	●立っていることができず、はわないと動くことができない。 ●揺れにほんろうされ動くこともできず、飛ばされることもある。	●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
6弱 6.00未満 5.50以上	●立っていることが困難になる。	●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。 ●ドアが開かなくなることがある。
5強 5.50未満 5.00以上	●大半の人が物につかまらなれど歩くことが難しい等、行動に支障を感じる。	●棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが増える。 ●テレビが台から落ちたり、固定していない家具が倒れることがある。

※印は計測震度を表す。計測震度とは地震計から直接得られる揺れの指標で、震度を数値で表したものです。

地震のような自然災害から生命や財産を守るためには、住民一人ひとりが日ごろから防災について関心をもち、災害時に落ち着いて行動できるよう、正しい知識と心構えを身につけておくことが大切です。この地震防災マップは、みなさまに地震の危険性に関する認識を深めてもらい、住居の重要性を理解していただくために作成しました。地震が起きた時に予測される被害の程度を地図上に明示するとともに、避難場所や地震に備えた日ごろの準備などをわかりやすく表示したものです。

マップについてのお問い合わせ先
内子町役場 建築デザイン班
〒795-0392
愛媛県喜多郡内子町平岡甲168番地
TEL:0893-44-2111 FAX:0893-44-5140
http://www.town.uchiko.ehime.jp/



震度階級

6強
6弱
5強

防災関連施設

町役場 警察 消防

緊急輸送道路

第一次緊急輸送道路
第二次緊急輸送道路

揺れやすさマップ
「揺れやすさマップ」とは、南海地震(想定マグニチュード8.4)が発生した場合の震度分布を50mメッシュ単位で表現したものです。予想される震度は町全域で震度5強から6強となります。

非常用持ち出し袋・備品の準備とともに、避難場所等も家族で話し合っておきましょう!

非常用袋・備品

- 地図
- 懐中電灯
- 携帯電話
- ハザードマップ
- 運動靴やスリッパ
- 雨具
- 毛布
- 現金
- マスク
- タオル
- ロープ
- 筆記用具
- 携帯トイレ
- 携帯ラジオ
- 救急セット
- 衣類・下着
- トイレットペーパー
- ウェットティッシュ
- ポケットティッシュ
- 水(必要最低限)
- 食料(必要最低限)
- 鍵(スベアキー等)
- 身分証明書コピー
- 健康保険証コピー
- 常備薬・お薬手帳
- 携帯電話の充電器
- 軍手(濡り止め付き)